



# 弦の子

2013.5

No. 7

弦巻中学校同窓会誌



## 「学びの意味」

同窓会会長 新川 勝二

第8回同窓会総会が6月29日(土)に3年毎に開かれますが、たくさんの皆様とお会いし、楽しいひと時と、懐かしい時を持てばよいと思います。また、1期生の仲間が、昨年3月に「古稀の会」を持ち、懐かしい話に時を忘れたようです。当時の校舎や校庭がひどかったことを、思い返したといいます。劣等生だった私にも、熱心に指導して下さいましたが、既に亡くなってしまった先生方の姿や言葉が懐かしく思い出されます。同じ1期生の人たちも同様の思いをされたのではないのでしょうか。

さて、もう2年前になりますが、東日本大地震を忘れることが出来ません。2011年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が発生し、それから十数分して茨城沖で大きな地震が起こりました。長さ500キロ、幅200キロにわたって巨大な断層が動いたといわれます。まず大津波が三陸から千葉にかけての海岸を襲い、死者・行方不明者は合計2万人近くに達しました。「想定外」といわれていますが、あまりにもおどろきでした。しかし私たちは、過去の事例から「学ぶ」ことをしなければなりません。

今東京湾北部地震がいつ起きてもおかしくないといわれ、東海・東南海・南海地震の三連動も言われており、気を許せません。実際に起これば、世田谷区には、最大震度6強の地域が、66.8パーセントもあり、3.11の時の震度5弱だったのを思い起こしてみると、どうなってしまうのだろうと思うと恐怖を覚えます。

非常時には、弦中の生徒が地域の人と混じり避難所の運営、防災面で協力して立ち上がるという話を聞き、非常に力強く思い、大いに期待しているところです。

そして、先のロンドンオリンピックでは、弦中出身の柔道66キロ級の海老沼匡選手が銅メダル、サッカーの日本代表ゴールキーパー権田修一選手も惜しくもメダルこそ逃しましたが大活躍でした。心よりお祝い申し上げます。

弦中の生徒の皆さんは、これからも一層努力して学校を盛り上げ、同時に一人ひとりが自分の能力の限界に挑戦してみてください。経験するさまざまな出来事が私たちに多くの教訓を残してくれます。それらに学びながら、弦巻中学校同窓生がますます強い絆で結ばれ続けて行けることを願っています。



6月29日 第8回同窓会開催



# リニューアル弦巻中学校

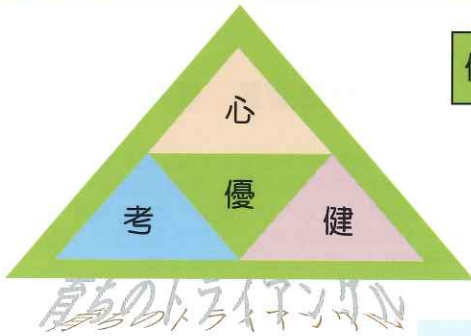
校長 野瀬 博



前回の「弦の子」には「本校は地域運営学校、世田谷9年教育のパイロット校として2年目を迎えました。」と書きましたが、昨年度（24年度）で5年間の使命を終え、1月11日に「世田谷9年教育パイロット校実践報告会」を無事終えたところです。タイトルに『リニューアル弦巻中学校』と書かしていただき

ましたのは、平成23年度から近隣の弦巻小学校・松丘小学校・松丘幼稚園と本校で『優郷の学び舎』と称した教育グループを世田谷区の施策として組みました。そこで、学び舎としての教育目標を新たに設定し、その教育目標から児童の文字を削除したものを本校の新教育目標としております。タイトルの左にある『優郷の学び舎』のシンボルマークと学び舎の名称は、生徒・保護者・地域の方々と本校教員とで一緒に考え決定したものです。新たな教育目標と平成24年度の1年生から標準服も新しくなりましたので、合わせて下にお見せします。同窓会の皆様には、リニューアル弦巻中学校を今後ともよろしくお願い申し上げます。

人格・識見に優れた児童・生徒の育成を図る



優	心	優しく他人を思いやり、自らを律し、社会に貢献しようという心をもった児童・生徒の育成を図る。
優	考	探究心をもってよく学び、物事を深く考えて人に伝えることができる児童・生徒の育成を図る。
優	健	自らの健康を意識し、心身ともにたくましく成長する児童・生徒の育成を図る。

## 3領域9能力の育成

- 【優心】 人格形成領域→相手を思いやる能力・自らを律する能力・社会に貢献する能力
- 【優考】 学習形成領域→考える能力（思考力）・調べる能力（判断力）・伝える能力（表現力）
- 【優健】 体力形成領域→健康を維持する能力・心を強くする能力・身体と運動機能を高める能力

## 平成24年度からの新標準服

<写真左>男子はネクタイ、女子はリボンを着用、女子のスカートには隠れデザインとしてプリーツを開くと縦のラインが見える。

<写真右>夏服は男女ともに紺のポロシャツ、熱を外に出すため裾は外出し。襟がしっかりしていて、速乾性が高く、生徒・保護者からの評判がよい。



## Active School 弦巻中

### 優しさいっぱい弦巻中

前副校長（24年度3月にて異動） 江崎 士郎



弦巻中学校は、優郷の学び舎として、弦巻小学校、松丘小学校と連携し、世田谷9年教育を進めています。

平成24年度の教育活動からいくつかご紹介します。

4月、始業式、入学式と行われ、11日が開校記念日です。今年度から若手教員が企画した、開校記念行事「楪」（ゆがけ）を行いました。

「ゆがけ」とは弓道で矢を射るときに腕にはめる道具です。弦巻の弦にちなんだ名前です。本校第1期生の後藤宣夫様にご講演をいただき、開校当初の様子を写真を交えながらお話下さいました。

平成25年1月には、優郷の学び舎実践報告会を行いました。世田谷9年教育のパイロット校として、弦巻小、松丘小と一緒に進めてきた研究活動の報告会です。当日は、中学校の全学級で公開授業を行い、その後体育館で実践報告、続いて、地域運営学校として優郷の学び舎を運営してきた取組みや今後の展望をテーマにパネルディスカッションを行いました。報告会後のアンケートには、小学校と中学校の連携の仕方が分かった、地域運営学校の取組みの仕方が分かったというご感想が多く、これまでの取組みが評価されたと思います。

3月には恒例の合唱コンクールが行われました。今年度は松丘小学校の4年生の全員合唱、保護者と教職員の合唱が加わり、好評を得ました。また、特別審査員に金澤智恵子先生をお招きし、合唱の質を高める講評をいただくことができました。

このように、弦巻中学校は新しい試みを加えながら、一步一步歩んでおります。今後も同窓会の大きな支援をお願い申し上げます。



## 先生方からのメッセージ



### 「根っこ」を張った同窓会の地道な活動

特別顧問（前校長） 橋本 由愛子

私は「根っこ」が好きです。道を歩きながら、根っこに目を向けます。「この根っこはどれだけ長く張っているのだろうか?」「この根っこは何十年 いえ何百年この大木を支えているのだろうか」と。また、苗木を植えた頃はどのような根っこだったのだろうか・・・。

同窓会の地道な活動は、この「根っこ」のように見えています。

弦巻中の同窓会は、同窓会主催の事業として3000名以上の地域の方々の参加がある「弦中フェスタ」とボロ市保存会の依頼で「ボロ市での讃岐うどん売り」等を毎年続け根っこを張りました。「子供たちの健全育成に同窓会としてどのように貢献できるか・・・」などを考えて、学校への支援の一つとしてのスタートをしたフリーマーケットでした。

今年度は、世田谷区より、同窓会活動に対する表彰を受けたことを伺いました。誠におめでとうございます。

会長さんを中心に役員の皆様は、ご多忙の中で、事業等を推進しておりますが健康に留意され、今後もご活躍いただきたいと思います。

石手 道子先生（理科）

2010年に病気退職いたしましたときには、皆様には大変ご迷惑をおかけしてしまい、本当に申し訳ありませんでした。在職中、皆様にとってもよくしていただいたこと、深く感謝しております。

遊佐 勝一先生（理科）

サンデー毎日で、時間が充分にありますので、ボケないように、オーバーホールしながら工芸に挑戦しております。特に海外からの里帰りした作品の鑑賞につとめております。



齊藤 孝司先生（校長）

同窓会の開催、心よりお慶び申し上げます。同窓会の皆様ご健勝をお祈りしております。同窓会を中心とした地域の絆が若い世代を支える力となることを確信しています。

山口 要人先生（教頭）

現在、3つのグループのウォーキングの世話人をしています。コース決め、下見、資料づくり(A4版地図、工程表、本文10頁以上)印刷を一手に引き受け、自身で多忙にしています。ボランティア活動も老人ホーム慰問です。

山田 道雄先生（保健体育）

昨年夏頃より腰痛（脊柱管狭窄症）で悩まされています。週3～4回通院していますが、あまり効果ありません。どなたか良いお医者様を紹介して下さいませんか。手術をしなくて済むようにしたいです。

松原 新一先生（理科）

84才になろうとしていますが今の所病気はしていません。日頃、歩くこと野菜作りに楽しんでいます。あとは読書と文章書きで過ごしています。孫も大人になり年に一回全員集合で顔合わせをやっています。



大島 泰子先生（国語）

皆さんお元気でご活躍のことと思います。豊島区の学校に異動して10年目、息子も高校2年生になりました。私にとって弦巻中はたった1年でしたが、思い出深い学校でした。お世話になりました。

木下 宏先生（美術）

大学で彫刻を20年程指導し定年で退職、現在は非常勤講師として週2日院生の指導に当たっています。弦巻中の事懐かしく思い出しています。皆様お元気で過ごしてください。





## 先生方からのメッセージ

吉岡 アキ先生 (国語)

歳を重ねまして遠出の外出は極力控えて居ります。趣味の油絵と近くの老人施設に傾聴ボランティアに行っています。これは私の健康保持に役立っているようです。同窓会の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。



苅込 希先生 (副校長)

昨年の4月から世田谷区立笹原小学校の校長として勤務しています。

柳田 淳一先生 (音楽)

都立高より平成6年多摩市立永山中へ最後の転勤、38年間の教職生活に終止符をうちました。退職後市内の特養老人ホームの施設長を勤めた関係で現在は多摩市の社協のお手伝いをしながら、市内合唱祭に参加しています。

丸山 和嘉子先生 (英語)

私はもう何十年も前に講師でたった一年行っていたので、お声をかけて頂き申し訳ない位です。

鴨志田 義英先生

80歳を超える今日足腰を痛め、歩行も困難、右手のシビレで字も思うように書けない現状です。ご参加の皆様のご発展を祈願致します。

辻 敏夫先生 (教頭)

弦中在職が20数年前、年月の早さを実感しています。一応空元気を出して過ごしていますが、年毎に飲む薬の種類と数がふえてきています。盛会を心からお祈りします。皆様様によりしくお伝えください。

岡 一磨先生 (保健体育)

体調不良のため、欠席します。皆様によりしくお伝え下さい。同窓会の発展を祈ります。

守屋 秀先生 (数学)

まあまあ元気です。毎月一度は近郊の山登りに出かけています。目下、グループ展のため油絵の制作に苦闘しています。当日は旅行中です。会のご盛會を祈願しています。皆様方によりしく。

大坪 良子先生 (数学)

皆さんお久しぶりです。当日は行事と重なっているので、欠席しますが皆さんのご健康と、益々のご活躍をお祈り致しております。



小沢 光弘先生 (社会)

連絡ありがとうございます。お陰様で年相応には元気にしています。あまり晴れがましい席には気後れして足が向きませんが、盛会であることを祈念しています。

齊藤 柳子先生 (国語)

待っていました。また皆さんにお逢いできるのが楽しみです。有益なことは何もせず、ただゲーム三昧の無駄ですが楽しい日々の85才です。しあわせにも、同才の夫と二人、人の世話にならず、ストレスもなく。



安藤 毅先生 (保健体育)

渋谷区立笹塚中2年目になりました。1年の時利率になりました。加藤一君が今年全国大会に参加しました。大変うれしいです。

佐々木 和子先生 (家庭科)

弦中から離れて、16年が経ちます。いろいろ思い出され懐かしいです。私は東京と八ヶ岳を行ったりきたりしています。昨夏から高齢者の枠に入ってしまった。子供はまだ小さいです。頑張らねばと思っています。

安齋 正則先生 (社会)

私は今、コミュニティスクールに基盤を置く、小中一貫教育の連雀学園三鷹市立第一中学校で勤務しております。



栗原 恭子先生 (心障学級)

絵を描いています。年2回会に参加しての発表をしています。ようやく絵かきの生活にもどれました。

町田 雅一先生 (技術)

弦巻小のBOPへ行くことになり、懐かしの世田谷線世田谷駅の通勤は、弦中時代のことが走馬灯のごとくあざやかに思い出されました。今ではすばらしき先生方や生徒との出会いは、大変貴重だったと思っています。

青田 祥伸先生

ご盛會を祈念いたします。弦巻中は、私にとっても青春そのものです。皆様のご健勝ご活躍ご発展をお祈り申し上げます。



小川 宏先生 (数学)

弦巻中学の同窓会のご発展と同窓会の皆様の一層の繁栄を願っております。小生、目下、療養中のため、参加できないのが残念です。有意義で楽しい同窓会にしてください。



## 先生方からのメッセージ

松波 佳子先生 (国語)

同窓会開催のお知らせをいただき、勤務していた1970年代の活気にあふれた弦中の様子など、なつかしく思い出しました。今は烏山川緑道などの散策を楽しみながら、のんびりと老後を過ごしています。

松林 陽子先生 (国語)

同窓会開催おめでとうございます。弦巻中の卒業生の方から、お子さんが弦中に入学したという年賀状をいただきました。2代、3代と通える地域の学校というのはいいものです。益々の会のご発展をお祈りします。

北村 康子先生 (副校長)

橋本由愛子先生の下で副校長として2年間勤務して優しさ笑顔いっぱいの弦巻中を大切に思っています。新川会長様、近田様とともに弦中フェスタの揚げパンや団子スープ販売ができたこと心より感謝します。

松井 和夫先生委 (理科)

14年も勤めていたので思い出がいっぱいです。皆さんに会える楽しみ。今は住んでいる所の深大寺九条茶の会や町会の世話人をして忙しく元気です。いつのまにか年をとってしまって同窓会の時は81才。



青山 政次先生

当日は別の会が予定されていますので残念ですが欠席いたします。同窓会の盛会と会員の健勝を祈っております。皆さんによろしくお伝えください。

小嶋 笙子先生 (保健体育)

ご連絡ありがとうございました。お陰様で元気に過ごしております。4月～12月の間は、半分東京、半分山形で生活しておりますが、東京では代々木公園でボランティア山形では野菜作りをしています。



若井田 典子先生 (社会)

いつもお心にかけて下さいます。ありがとうございます。84才になりましたが、元気です。もう昔のことになりますね。立派なお父様、お母様になっていられる事でしょう。ご健康とご多幸をお祈り致します。

富川 千賀子先生

(心障学級)

柔道や部活顧問の体罰が紙面を賑わす昨今、顧問として関東大会に出場した事もある9年のテニス部員と交わり、体育祭でI組を支えてくれた柔道部、職場で得た様々の宝物は今も心に残る。現在はI組卒業生のサークル活動で元気を貰っている。

菅井 文一先生 (社会)

相変わらず二病息災？という毎日を過ごしています。晴れた日は庭いじりと近所を歩くこと。雨の日には気儘な読書と手仕事をしているうちに一日が終わってしまいます。

野牧 百合子先生 (国語)

母の介護や諸々の事情などで、おおよそ3週間程度の間隔になりますが、東京と実家(飯田)を行ったり来たりしています。この生活、当分まだまだ続きそうです。

竹内 すみ子先生 (校長)

ご案内有難うございます。平成12・13年度の短い期間の勤務でしたが、思い出は多く、なつかしさで一杯です。千葉県野田市から片道2時間半通勤でした。出席したいのですが、母の介護のため、失礼いたします。盛会をお祈りします。

磯野 美希先生 (美術)

(旧姓 和田)

弦巻中では、新採だった私も、今では職場の平均年齢を上げる方に入っております。年月のたつのは早いものですね。今でも美術棟のあたりや屋上のプラネタリウムを懐かしく思い出しております。



秋田 仁先生 (理科)

お誘いありがとうございました。家族に病人を抱えており、外出もまま成りません。何といたっても健康であることの大切さを痛感している毎日です。ご盛会をお祈りします。

小野 雅巳先生 (国語)

退職後、行政書士事務所を開き、引き受け手の少ない区長申し立ての成人後見人を受任しております。

志賀 一代先生 (家庭科)

80才を過ぎた現在でも元気です。お目にかかり、楽しい一日をと思いますが、長時間の外出に自信がありません。残念ですが欠席いたします。くれぐれも皆様によろしくお伝えくださいませ。

太郎良 博先生 (英語)

昭和52年に新任で着任しました。サッカー部顧問として、部員ともども汗を流しました。3年目にして都大会出場を果たしたことも懐かしい思い出です。現在は、仕事を少し手掛けつつ、旅行・短歌・読書等の日々です。

長江 治次先生 (美術)

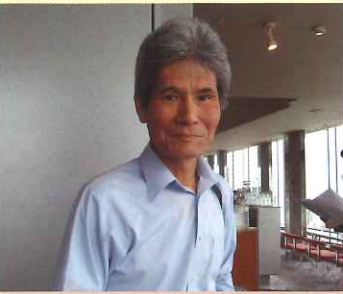
同窓会へのご案内ありがとうございます。弦巻中での生活は短い割には良い思い出ばかりの学校でした。昨今の弦中の状況はわかりませんがPTA同窓会を含めて発展される事を念じております。



# 先生方からのメッセージ

**内海 邦子先生(心障学級)**  
退職後、週4~5日地域の施設を利用し、声を出したり、身体を動かしたり、楽器に挑戦したり、時には仲間と食事会に出掛け、おしゃべりを楽しんでいます。その反面、探し物をする時間が多くなりました。

**道家 信之先生(理科)**  
何となく時間に追いかけてられている生活をして、山に行くのも遠ざかってしまいましたが元気で暮らしております。皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。



**石井 美登里先生(国語)**  
弦巻中で11年間お世話になりました。今は同じ区内の砦中で勤務しています。今でも弦巻の卒業生が砦の部活指導に来てくれたり、卒業生や保護者の皆さんと会ったりして元気をいただいています。弦巻に感謝です。

**田辺 春海先生(保健体育)**  
いつも時間に追われながら元気に楽しい日々です。弦中で育ててもらった心身のお陰と感謝です。卒業生や先生方に逢えた時、昔話に花が咲き身の縮む思い!? 私の至らぬ授業に又子育てへの応援に本当に感謝

**渡邊 郁雄先生(英語)**  
同窓会のご通知有難うございます。小生、5月には82才になります。40才(昭和46年)に6年間の弦中での教師生活を最後に転職して現在でもその会社を続けていますので出席出来ません。悪しからず。

**阿部 哲三先生(技術)**  
皆さんお元気ですか。私はこの2年、朝食前に一万歩を目標にしてジョギングやウォーキングをしています。夏は畑作り、田んぼの草刈り、冬は山の草刈りで年中多忙です。遊びに来ませんか。

**藤島 照子先生(音楽)**  
残念ですが、欠席させていただきます。今年3月で40年間の講師生活にピリオドを打ちました。相変わらず元気で歌うことだけは続けていきます。ご出席の皆様どうぞよろしくお伝えください。

**川本 正秀先生(教頭)**  
所用のため参加できません。みなさま、お元気で!

**星田 和子先生(国語)**  
平成3~4年に短期間お世話になりました。元気いっぱい1年生と国語を学びました。嘉村先生と長山先生の年賀状を通じて、当時の皆さんの様子を思い出しています。厳しい社会情勢に負けず進んでください。

**土屋 光男先生(英語)**  
ご案内ありがとうございます。宮の坂のシルバー人材センター学習教室で、弦中の生徒を教える事もあります。やはりなつかしいですね。来年度は中二を教えます。

**片倉 弘雄先生(技術)**  
幹事の皆さんご苦労様です。私は現在のところ薬も飲まずに元気しております。6月29日はまだ先のこと故に具合が悪くなるかも知れませんが欠席させていただきます。ご出席の皆さんによろしくお伝えください。

**加藤 智先生(社会)**  
後期高齢者になりましたが、一応元気つもりです。以前手に入れて積読していた本を読むのが、主な生活目標ですが、遅々として進まず、日暮れて道遠しと嘆いています。盛会をお祈り致します。

**渡邊 裕子先生(国語)**  
弦中を離れてもう20年にもなりますが、新採で勤めたということもあり、とても思い出深い学校です。最近副担だった3Cの生徒さんにお会いする機会もあり、うれしく思っています。今は梅丘中学校に勤めています。



**滝澤 雅彦先生(教頭)**  
平成10年4月から14年3月まで長田輝夫校長先生と竹内すみ子校長先生のもとで4年間教頭としてお世話になりました。本年3月で定年退職を迎えました。弦中が私の管理職の原点です。『遠くの私立より 近くの弦中を!』

**志賀 平治(数学)**  
今回はまだ出席できるかわかりませんが、有難い事に仕事に追われています。又皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

**橋本 由愛子先生(校長)**  
第8回同窓会おめでとうございます。年間の大きな行事の「弦中フェスタ」(ボロ市(12月・1月))に役員の方々が力を合わせて行動されている姿に頭が下がります。今後も地道に活動が続けてください。感謝。

## 逝去された先生

謹んでお悔やみ申し上げます。

- 高橋 恵子先生
- 松本 春江先生
- 古賀 恒子先生
- 中山 歌子先生
- 田守 政弘先生
- 原 義彦先生
- 福間 徳雄先生
- 樋下田恒雄先生
- 大内 清次先生
- 岡崎 資格先生
- 竹内 正二先生
- 金谷 善弘先生
- 東 未孝先生
- 山本 慶次先生
- 山本 章一先生
- 富永 昭二先生
- 井上 泰昭先生



1期生  
古稀の会

1期 池田 浩

年齢(よわい)を重ねて今年は7回目の年男を迎え、年の経つのがこのように速いものかと思うこのごろです。弦巻中学校は、新設校で私たち一期生は2学年から他の中学より転校してきました。新しい学校ということでそれぞれ不安を持っていたように思います。校舎は木造で廊下や屋根は波打ち、廊下は歩くたびに音がしていました、また、校庭は、片方が山になり真中に小川が流れ、使える片方の校庭も草や小石だらけで、その草取りや小石を拾うことが体育の授業であったと記憶しています。

担任の田中先生、正田先生をはじめ先生方は若いバリバリの方で、私たちを熱心に導いてくださいました。私たちも徐々に弦中の基礎を築いて行こうという気概になり、勉強や部活に一生懸命頑張ったように思います。

昨年の3月、赤坂のホテルニューオータニで催された「古稀の会」では参加したA組、B組併せて22名が皆、木造校舎、半分しか使えない校庭、先生方の話、部活等の話を当時に戻って時には笑いを交え、また懐かし

みながら、参加できなかった人たちの分も含めて終始和やかに話の花が咲いていました。その気持ちの中には、一期生として弦中の礎になったという自負が読み取れたように思われました。私自身このような学び舎で先生方、同期生、二期生、三期生と一緒に青春の1ページを記したことに大きな喜びと幸せを感じております。



5期生  
50周年同期会

5期 八重樫 正彦

昭和20年生まれの私たちの年齢は今年67歳。皆、大変元気であるものの、同期生の多くが仕事の第一線から離れる年齢となってしまう

した。昨年、私たち5期の同期会は、3年ぶりで、当時担任をしていただいた松原先生をお招きし、渋谷青学会館アイビーホールで開かれました。北は青森市、福島県のいわき市、長野県穂高市、南は広島、岡山そしてイタリア ミラノ市からも駆けつけてくれた同期生も含め総勢44名が集まり、大変楽しい会合を開くことが出来ました。事前準備段階で各クラスごとの幹事に役割が与えられ、幹事を中心にした入念な事前準備が行われ、当日の同期会次第などが準備されました。同期会の席では大型スクリーンに昔の風景、幼な顔が残る写真など、クラスごとに準備されたものも映し出され、懐かしさと笑いと笑顔の大変楽しい2時間でした。楽しかった会合を忘れることなく次回に繋げるようにと、幹事有志により、アルバムが作られ、出席者全員に配られ、出席者からは大変な好評を博しております。



10期生  
第8回同期会

10期 鈴木 正隆

弦巻中学第10期同期会は、各クラス毎に行っていたクラス会と一緒にやってはどうかと全クラスに声をかけるようになり、今に至っています。この年代は30歳代後半になり中学を卒業して20年を越える年代、「そろそろ集ってみようか」という声が聞こえてくる頃でした。60歳を越える年代になると中学を卒業して半世紀になろうという年代、還暦を迎え、定年になる頃でもあり「みんなあの後どうしているかな?時間ができたから同期会に出席してみよう」と、ふと思う頃でもあります。そのような時期、2012年(平成24年)10月28日に第8回の同期会を3年ぶりに開催しました。

当日、1時間目(1次会)は「ホームルーム」と銘打ち、弦中の教室をお借りして開催しました。24名が半世紀ぶりの中学生に戻り、出席いただいた斉藤先生と白井先生を交えて近況報告に花が咲きました。卒業後初めて母校を訪れたというメンバーもいて、同窓会が毎年主催している弦中フェスタの開催日でもあったので楽しく見学もさせていただきました。

2時間目(2次会)は同じ弦巻町内の会場に移り「校外給食」を楽しみました。私達の在学中にはまだ給食はなかった

のですが、途中2時間目より参加の仲間もいて、久しぶりに地元での「大人の給食」に時間の経過を忘れていました。やはり弦巻はみんなのホームタウンです。東日本大震災に遭遇して住まいを移した方、東京から離れて久しい方...卒業してから半世紀を迎えようとするこの「第10期のメンバー」は日本全国にいますが、いつでもこのホームタウンに連絡できるようにしたいと考えています。







## 未来の船に込めた熱い思い

第11期 信原 真人

平成23年10月の第15回弦中フェスタのお手伝いをする機会を突然のぎっくり腰で見送った私は、平成24年10月の第16回で初めて TENT 張りのお手伝いをさせていただきました。

昭和50年(1975年)に長崎の造船所に就職した私は、平成20年までの33年間、その殆どを長崎で、貨物船、客船、調査船等様々な船の設計をすることで過ごしました。その後東京の船会社に再就職した私は、横浜で3年間暮らしたのち平成23年に弦巻の実家に戻りました。母校弦中は昔のままそこにありました。

弦中の同期生はもとより、先輩や後輩、恩師と再会した時には、懐かしさと、嬉しさで胸が一杯になりました。

さて、私は最近「NYK Super Eco Ship 2030」のデザインに携わりました。今すぐには難しくても、2030年には実現出来ると考えられる技術を織り込

んだ船を思い描くことから始め、世の中の新しい技術を勉強しながらデザインを進め、最後はこれらの技術を目に見える形にしようと模型を制作しました。本当に楽しい仕事でした。現時点では私たちの夢を表現した船ですが、同時に単なる夢では終わらせないぞとの熱い思いが込められています。2030年にこのような船を造るのは、あなたかもしれません。未来を生きる子供たちの心に「船って素晴らしい」というメッセージが届くことを願っています。



(NYK Super Eco Ship 2030 模型の写真「日本郵船株式会社提供」)



## 親子で話す弦中の思い出

第21期 横地 美香

当時は当たり前のように思っていた広い校庭。親になって、その校庭で思う存分走り、遊び、スポーツに熱中する息子達の姿に、なんて恵まれているのだろうと改めて思ったものです。

また今は、弦中だけの どこにもない素晴らしい宝に「講道学舎(幾多の優れた選手を輩出した名門柔道塾)」があります。私が在学の時にはありませんでしたが、一人の親として母校に関わる立場になって、学舎の存在 学舎の彼達がいることに、こんな驚きや発見がありました。

学舎の彼等は、寮生活をしていて自分達とはやや違う存在でいながら、「心身ともに強い人」「強くなる為に頑張っている人」そんな厳しい環境の彼等が身近にいることで私自身は勿論、自分の子どもたちを含め、みんなで応援する気持が弦中に関わる人々にごく普通に流れ、温かな「弦中の和・輪」を作り出しているのが とても素晴らしいと感じたのです。

### 子供の頃と父兄になってからの違い

長屋 美香(旧姓)と申します。

我が家は、私も息子達二人も卒業生と言う、主人以外みな弦中出身です。

私は、自分が子供の頃と、PTAとしての大人の眼との両方で弦中を見ることができました。

自分が在学生の頃はノホホンと広い校庭でスポーツに遊びにと毎日楽しく過ごしていました。

きっと同じ目線では気がつかなかったのでしょう。

これが 私が子供の頃とはまた違う 大人に



なつての弦中魅力発見です。

息子(次男)に思い出を尋ねたところ、技術の小山先生の授業が懐かしいと言っています。あと、テニス部の思い出として、コートがボコボコで、打ったボール来たボールがイレギュラーしたことなどが、忘れられないそうです。(いまだ

にそうでしょうか？笑)

今は、深沢で「ロゴスキー深沢カフェ」と言うお店をこの息子と松パパ倶楽部に所属する主人とやっていますが、お店にも同窓生の方がみえられたり、懐かしい話に花が咲いたりします。

## はじめまして。 48期卒業生の 権田修一です。



今僕はJリーグのFC東京でGKとしてプレーしています。昨年の夏のロンドン五輪では同じ弦巻中学卒業生で柔道の海老沼と共に日本の代表として戦いました。今は来年ブラジルで開かれるW杯に出場する事を目標にやっています。

そんな僕がサッカー選手を本気で目指し始めたのは中学生になった時でした。

中学入学と同時にFC東京の育成組織に入りました。それまでは遊びの延長でしかなかったサッカーがJリーグのユースチームに入る事でプロと

同じユニフォームを着てプレーする責任も芽生え、本格的にプロを目指しはじめました。

僕は昔から大きな目標があります。『W杯で日本が優勝する時にピッチに立つ』この目標を達成できるように一日一日を大切にやっていきたいと思います。それと同時に、僕が昔先輩達に憧れたように後輩達から憧れられるように人間性も磨いていきたいと思っています。



©FC.TOKYO

©FC.TOKYO



同窓会寄贈の非常時には「かまど」になるベンチ



プール



屋上



イクメントイレ



## 校歌

里見 朝慶  
山岸 磨夫

紺青の 澄んだ天空  
富士の嶺も はるかに浮び  
見はるかす 広いこの校庭  
踊ろうよ 手足伸ばして  
楽し たのし

われらの弦巻中学校

深遠の ゆるがぬ真理  
仰ぎ見る け高い理想  
若人の 生命の泉  
汲みとろう 心ゆくまで  
進む すずむ  
われらの弦巻中学校

永遠の 世界の平和  
たゆみない 輝く文化  
もろともに 心あわせて  
築こうよ 力の限り  
励む はげむ  
われらの弦巻中学校





# 表彰されました!

弦中フェスタは今年17回目を迎えますが、これまでの活動が、環境に配慮した行動を広め、地域の環境改善に貢献したとの評価をいただき、世田谷区長より環境保護・啓発部門で表彰されました



## 弦中フェスタ(フリーマーケット)

5期 森 明子

弦中近辺では、すっかりお馴染みになった弦中フェスタですが、ここ2年は、雨に見舞われています。1去年は、前日が大雨で、当日も校庭に水溜りができ、体育館での開催になりました。去年は、天気予報では、午後3時ごろから雨との事。校庭開始に決めました。受付を8時30分から始め、出店者の方々は、それぞれ独自のレイアウトで、品物を並べ始めました。弦中のプラスバンドも始まり、雰囲気も盛り上がってきたころ、突然雨が降りだしました。それも結構大粒の雨。急遽体育館に移動することになり、皆さん大慌てで店をたたんだり、気

の毒な事となりました。何とも憎い雨でした。

学校は江崎副校長のご提案で生徒によるスライム作りの出店がありました。グニャとした手触りが子ども達に大好評でした。

(スライムはPVAという洗濯糊に食紅、水で溶いたホウ砂をポリコップに入れ割り箸でかき混ぜるとグミを柔らかくしたような粘土状のものができる)



一去年は、大震災支援の募金箱を設置。来場者から温かい寄金が寄せられました。また、被災地からの缶詰等の販売もありました。

## ポロ市へ行こう!

10期 近田 優子

12月15・16日と1月15・16日の4日間 436年と言う長い歴史を持つポロ市は、かつて弦中生だった皆さんならよくご存知ですね。

同窓会には毎年行われる活動が2つある。

1つは、運営費を捻出するために始めたライブもあるエンターテイメント型フリーマーケット(弦中フェスタ)、そしてもう1つが「ポロ市 讃岐うどん販売」である。

場所はどこ? ポロ市通りほぼ中心の代官屋敷向かい ポロ市のくす玉の下に「讃岐うどん」屋さんはある。

早朝6:00からの販売屋台組み立ては、寒い時期なのに同窓会役員だけでなく、弦中主事さん 松丘小学校の通称「松パパ」さん(松パパ倶楽部)から子供の成長と共に弦中では「ゲンコツおやじの会」となられたみなさん、そして弦中から異動したかつての主事さんまで加わりの大仕事。

出来上がった屋台で およそ12月は12000食 1月は9000食ほどが例年販売されます。

売り子は、弦中生のママ軍団!これが素晴らしいのす!

私たち同窓会メンバーは、一歩下がった宅急便受付やうどん出しや諸々裏方をしているので、「通りがかりにちょっと覗いてみてくださいね。

「おやっ?」って、卒業生が顔を出して行ったり、東京ではこのポロ市でしか買えない讃岐うどんファンのお馴染みさんが声をかけて行ったり、スタッフの他に誰かしらいたりして、なかなか楽しい交流の場になっているのも毎年の光景なのです。

「ここに来ると会えると思った〜」とか、かつての同窓生・同級生が来たり、弦中から異動なされた先生たちが、それぞれお顔を出され、思いもかけない先生方



の同窓会の場になったりもします。「ポロ市」は「弦中フェスタ」とは又違った「同窓会が見える」活動になっているのだろうと思えます。ところでこのどん、なかなかの評判でリピーターが大変多いのです。

12月は年越しの為や、お歳暮に購入される方も大変多かったり人気のうどんは、毎年早く売り切れになりますが、2013年1月のポロ市は・・・大雪の後で、見事な惨敗。

それはそれはもう沢山 売れ残りしました。天候によって左右される難しさも抱えています。

そんなさぬきうどん販売ですが、さてその売り上げは…って?フリーマーケットと違い、残念ながら同窓会の運営資金にはならないのです。讃岐うどん売上金全て、ポロ市を運営をするポロ市保存会を通じて 近隣の小中学校の助成金や ポロ市に色を添えるマーチングバンドの助成金に充当されます。

同窓会は 色々な方々のサポートも得ながら地域のボランティアとして動いているのです。

2011年フリーマーケットがリサイクル環境保護で表彰を受けたように、ポロ市讃岐うどん販売も地域に貢献していると言う事で、2012年優良店として表彰を受けました。同窓会の2つの活動が、評価されていると同窓会として私たちもちょっと嬉しいです。

と言うことで ちょっと寒いけれど、遊びがてらサポーターで来て貰えたらなあ〜って、思っただけのレポートです。

ええ 誰か知った顔がいるかもしれませんよ。そうそう、待ち合わせに使ってもいいですね!ポロ市に同窓会が売り場を持っていて、そこを待ち合わせ場所なんて、どこの学校にもないでしょ!?

ポロ市へ足を運んでみよう! くす玉の下、招き猫の隣の小さな屋台を覗きに、「さあ行こう!」



# 特別会費を振り込まれた方

(敬称略・順不同)

ご協力ありがとうございました。

松島好美	石川憲司	八重田	馴子	村谷	絃子
山村内馨	本崎和敏	田本服	信安	大木	克幸
村田部春	山崎信一	松本服	安英	大木	克幸
広部江子	平澤浩介	榎本	田英	久松	勝二
野沢純	宮司隆博	池田	文和	久松	勝二
小菅栄	鎌田和子	金井	孝純	中島	健英
二村陽	赤羽嗣政	廣村	上純	近川	健英
野田勝彦	嶋崎政美	村菊	池藤	川村	健英
阿中喜久	宝吉滋郎	後藤	横藤	松岡	本一郎
中村啓美	藍今正	後藤	中下	松岡	本一郎
井関哲	安石洋	森下	小泉	阿部	哲三
前田英	加藤文彦	小畑	小林	原山	恭み
三島謙	高星野	小久	大久	原山	恭み
三島敬	星野隆	小久	大久	原山	恭み
鈴木本	小井原	久保	野田	伊相	小今
中富田	藤原生	野田	庄司	相小	今原
宮瀧本	藤原生	野田	庄司	相小	今原
多田恵	美志子	野田	庄司	相小	今原
多田恵	美志子	野田	庄司	相小	今原
岩本登	志子	野田	庄司	相小	今原
長瀬瑛	侃子	野田	庄司	相小	今原
山川泰	真一	野田	庄司	相小	今原
篠原真	一造	野田	庄司	相小	今原
田啓		野田	庄司	相小	今原

# 弦巻中学校同総会 会計報告

平成22年4月1日～平成25年3月31日 単位円

収入		支出	
<b>平成22年度</b>			
繰越金	4,174,233		
55期会費	175,500	総会経費	944,173
総会会費収入	559,000	総会会場費	545,400
特別会費	364,000		
フリマ収入	773,100	フリマ支出	401,279
ボロ市謝礼	135,000	運営費	118,937
利子	819	次期繰越金	4,171,863
	6,181,652		6,181,652
<b>平成23年度</b>			
繰越金	4,171,863		
56期会費	201,000	運営費	110,116
フリマ収入	424,200	フリマ支出	399,399
ボロ市謝礼	135,000	次期繰越金	4,429,070
利子	6,522		
	4,938,585		4,938,585
<b>平成24年度</b>			
繰越金	4,429,070		
57期会費	187,500	運営費	124,178
フリマ収入	332,010	フリマ支出	388,788
ボロ市謝礼	135,000	次期繰越金	4,571,145
利子	531		
	5,084,111		5,084,111

上記監査の結果適正であることを確認いたしました。

平成25年4月7日

会計監査 後藤 宣夫  
山田 裕一

※記載漏れの方はお申し出ください。次号に掲載させていただきます。

## \*\*\* 同総会からのお願い \*\*\*

### ● 転居先をご連絡ください

会報を送っても転居先不明で戻ってくる数が年々増してゆくのがとても残念です。

まだまだ勉強や仕事で忙しい方も連絡先が途絶えてしまわないように転居先をご連絡ください。

2年前の大地震で、人と人との絆の大切さに気付かされました。同じ学び舎で学んだ者同士共有している思い出を絶やさないうで繋げてゆけるよう、ご協力をお願いいたします。

情報連絡先 info@tsuruchu.ciao.jp 担当 本田

### ● 「特別会費納入 ありがとうございます」 ●

皆様をお願いしてまいりました特別会費ですが、おかげさまで只今は14000人を支えながらもなんとか運営出来る状態になっています。

これもひとえに皆様のご協力の賜物です。

ここに御礼申し上げます。

今後も引き続き、ご協力よろしくお願い致します。

お手数ですが所定の振込用紙を同封いたしますのでよろしくお願い致します。

会費：1口2,000円(何口でも結構です)

第8回同窓会会費と同じ振込先をお願いいたします。

## 2010年 第7回 同窓会レポート

1期 長瀬瑛侃子

平成3年に同窓会が発足して19年目の同窓会は、前回と同じ品川プリンスホテルで開催いたしました。

先生方は18名、同窓生は約100名が集まりました。

総会では会長挨拶、会計報告 次期役員候補の承認をいただき、懇親会へ移りました。

眺めの良い明るい会場ではビュッフェスタイルのお食事をいただきながら、お世話になった先生を囲んで、皆多感だった中学生に戻ったかのような晴れやかな笑顔がずらり、あちこちに。

同窓会運営委員が用意した卒業アルバムに自分や友を探し、今と見比べて楽しむ人たちもあり、また、尽きない思い出話から同期会の相談等に発展した期もありました。

2時間余りの歓談の後、会の終わりに中島聰先生の指揮により出席者全員で校歌を斉唱した時は弦中での出来事が脳裏に浮かんで感慨無量でした。

先生方も卒業生との再会を楽しみにされています。来たる第8回同窓会が楽しい会となりますよう誘い合つてご出席ください。





# 第8回同窓会のお知らせ



《同窓生の皆様へ》

あれから3年 どうも気候がおかしいです

私達「弦中同窓会」は、いつのまにか20歳を越してしまいました。大人になりましたね～



開催日時：2013年 6月29日（土曜） 13:00～16:00

受付開始 12:30より

開催場所：新高輪プリンスホテル 【イルレオーネ】

〒108-8612 東京都港区高輪 3-13-1

TEL 03-3447-1111

会 費：6000円

内容：1部 13:00・・・総 会（卒業生のみ）

2部 13:45・・・懇親会 先生方・同期生・先輩・後輩と一緒に食事&歓談  
をお楽しみください

## お振込先

弦巻中学校同窓会 会長 新川勝二

・三菱東京UFJ銀行 駒沢大学駅前支店 普通 0115053

・ゆうちょ銀行

他金融機関からの振込み 店番 018 普通 口座番号 36071641

ゆうちょ銀行からの振込み 記号 10180 番号 36071641

★申し込み：同封の振り込み用紙か上記振り込み先をお願いいたします

尚、会場準備の都合上、**6月10日**迄に申し込みをお願い致します



★問合せ先：近田 優子（10期）

長谷部 俊（18期）

狩野 恭子（36期）

沼田 彰（7期）

★アクセス：品川駅高輪口へ

★出席予定の先生（順不同・敬称略）5月1日現在

山口要人 松井和夫 斉藤柳子 白井 顕

遊佐勝一 道家信之 嘉村寛子 松原新一

渡辺裕子 滝澤雅彦 橋本由愛子

中島 聰

世田谷区立弦巻中学校同窓会

「弦の子」No.7 2013年5月発行

〒145-0016 東京都世田谷区弦巻1-42-22  
世田谷区立弦巻中学校内

発行人 新川勝二

編集 長瀬瑛侃子、森 明子、蛭川澄夫、狩野恭子

沼田 彰、近田優子、本田 巖、長谷部 俊

印刷 (有)メイコウプリンテック 小林 実

